

原料	調達における社会課題		目指す姿・ 中長期目標	KPI		2023 年度実績	課題解決アプローチ
				2030 年	2025 年		
パーム油	地球環境	気候変動、森林破壊、 泥炭地開発、 生物多様性の喪失	森林破壊ゼロ、 泥炭地開発ゼロ、 搾取ゼロ	農園までのトレーサ ビリティ (TTP ^{※1})： 100%	TTP：85%	TTP：95%	・農園までのサプライチェーンの把握 ・衛星写真による森林破壊のモニタリング ・サプライチェーン変革プログラムの適用 ・NGO や搾油工場との協働／直接サプライヤーとの エンゲージメントによるサプライチェーンの改善 (環境・人権リスク低減) ・グリーバンス (苦情処理) メカニズムの運用 ・ランドスケープイニシアチブ ^{※3} への参画 ・RSPO ^{※4} 認証油の調達
	人権	強制労働・児童労働、 先住民・地域住民・ 労働者からの搾取		労働環境改善プロ グラム適用率：100% (全直接サプラ イヤー)	労働環境改善プロ グラム適用率： 100% (パルマジュ エディブル オイル (マレーシア) ^{※2} の 全サプライヤー)	パルマジュ エディ ブル オイル (マレー シア) のサプライヤ ーへの労働環境改善 プログラム適用率： 74%	
カカオ	地球環境	森林破壊、気候変動に よる生産地への影響、 生物多様性の喪失	森林再生、 児童労働撤廃	植樹 100 万本 ^{※5}	植樹 50 万本	コートジボワールの 直接調達サプラ イチェーンで 145,748 本植樹 (累 計：315,748 本)	・調達先の農園の境界線 (ポリゴン) マッピング ・森林の保全と再生 ・児童の保護 (CLMRS の推進) ・コミュニティ支援プログラム (ガーナ、コートジボ ワール) の実施
	人権	児童労働、農家の貧困		児童労働撤廃	最悪の形態の児童 労働 ^{※6} ゼロ	当社グループの直接 調達サプライチェ ーン上の農家グル ープの 100% を CLMRS ^{※7} にてカ パー (コートジボ ワール、ガーナ) 児童労働を評価・対 処する効果的で持 続可能な児童保護 と HRDD システム にて、直接調達サ プライチェーン上 の 60% の農家を カバー (コートジ ボワール、ガーナ)	
大豆	地球環境	森林破壊、 生物多様性の喪失	森林破壊ゼロ、 搾取ゼロ	コミュニティレ ベルまでのトレ ーサビリティ確 保、または RTRS 認証品もしくは RTRS 認証に準 じたその他認証 品での調達率：100%	第一次集荷場所ま でのトレーサビ リティ確保、ま たは RTRS 認 証品もしくは RTRS 認証に準 じたその他認証 品での調達率：100%	・北米・中国サ プライヤーとの 対話を促進し、 トレーサビリ ティの状況を 把握 ・第一次集荷場 所までのトレ ーサビリティ 確保：83%	中国サプライヤーとの直接対話の継続推進
	人権	先住民・地域住 民・労働者から の搾取					
シアカーネル	地球環境	緑地の消失	森林保全、女性 のエンパワメント 支援	植樹 6,000 本 / 年 ^{※9}	植樹 6,000 本 / 年	植樹 9,364 本 / 年	・Tebma-Kandu プログラムの実施 ・シアの木の生息域内の緑地保全 ・エネルギー転換による環境負荷低減
	人権	農家の貧困		Tebma-Kandu 協 同組合 ^{※10} から の調達を含め、 地域レベルま でのトレーサビ リティ：75%	70%	88%	
				Tebma-Kandu プログラムから のシアカーネル 調達比率 ^{※11} ：50%	30% ^{※12}	19%	
				西アフリカでの シアカーネル搾 油・分別比率：100%	100%	100%	
				フジ オイル ガ ーナで使用する 非化石エネル ギー ^{※13} 比率 (蒸 気発生用)：100%	100%	97.6%	
				Tebma-Kandu 協 同組合の代替 収入のための、 当社グループ 寄贈倉庫活用 比率：80% ^{※14}	20%	—	

※1 TTP：Traceability To Plantation

※2 パルマジュ エディブル オイル（マレーシア）：不二製油グループ本社の 100% 子会社の油脂製造拠点。

※3 特定した地域について、パーム農園に限らず NGO やコミュニティ・政府などのマルチステークホルダーが参画し、地域ごと改善を図るアプローチ。

※4 RSPO：Roundtable on Sustainable Palm Oil（持続可能なパーム油のための円卓会議）。

※5 さまざまな種類の緑陰樹の苗木を 2021 年から 2030 年までの 10 年間で 100 万本植樹予定。

※6 最悪の形態の児童労働:Worst Forms of Child Labour (WFCL)。ILO（国際労働機関）第 182 号条約「最悪の形態の児童労働の禁止及び撤廃のための即時の行動に関する条約」により、子どもの安全、健康、道徳を害するおそれのある危険有害労働を禁止している。人身取引、債務労働、強制労働、児童買春、および児童ポルノ、犯罪など不正な活動、武力紛争での子どもの使用が含まれる。

※7 CLMRS：Child Labour Monitoring & Remediation System（児童労働監視・是正システム）。

※8 RTRS：Round Table on Responsible Soy Association（責任ある大豆に関する円卓会議）。

※9 主にシアの木の苗木を 2021 年から年間 6,000 本植樹予定。

※10 Tebma-Kandu プログラムの登録協同組合。

※11 KPI を「Tebma-Kandu 協同組合からのシアカーネル直接調達比率」から「Tebma-Kandu プログラムからのシアカーネル調達比率」に変更。Tebma-Kandu プログラムの考え方に基づいて当初から活動している協同組合に加えて、新たに Tebma-Kandu の趣旨に賛同したパートナーからの調達数量を含める。

※12 2021 年、2022 年、2023 年はそれぞれ 10%、10%、15% を KPI に設定。

※13 シアバターを分別した際に得られる副産物であるシアオレインをバイオマス燃料として使用。

※14 地域における価値創造に関する KPI「フジ オイル ガーナの正規雇用の社員数:50% 増加（2017 年比）」は 2022 年度時点で達成したため、それに代わる新たな KPI を 2024 年度から設定。フジ オイル ガーナが寄贈したシアカーネル保管用倉庫のうち、空きスペースやシアシーズン以外の期間を利用して、シア以外の収穫物の保管に活用して収入を生み出している倉庫数の比率。